

# 600人が集って忘年会

城西グループの忘年会が12月10日、結城市民情報センターで開かれました。中村喜四郎代議士、藤田幸久参院議員、前場文夫結城市長、須藤茂筑西市長、臼井平八郎県議、板橋一好県議をはじめ、この1年間、お世話になった人たちを招待し、約600人が一堂に会しました。

開会に先立ち、情報センター前では、エイサー隊が演奏を披露し、次々と集まった人たちをもてなしました。

忘年会では、多田正毅理事長が、映像やスライドで、この一年間の出来事を振り返ったあと、城西病院の35周年を記念し、江戸時代から脈々と続く「達生堂」をグループ名にすることを発表しました。

達生堂は、江戸時代に江戸城の門前で内科、産科を営む幕府の御典医で、古文書からその存在が確認されました。多田理事長はその20代目に当たります。

来賓の挨拶をいただいた後は、各部署によるかくし芸大会が行われました。それぞれ趣向を凝らした出し物を演じ、優勝に「ヒューマンハウス」、準優勝に「すばる」が選ばれ、社会福祉法人 筑西会が1、2位を独占しました。恒例のビンゴ大会は、開始後わずか5つの数字が出された時点で、ビンゴを獲得した参加者もいるなど、自転車やテレビなどの豪華賞品を狙って、会場は盛り上がりました。

最後は恒例の『<sup>すばる</sup>昴』を全員が輪になって合唱し、行く年を振り返り、来る年の幸を語り合いました。

平成28年12月12日



グループ名を「城西」から「達生堂」に